

2016年度（平成28年度）

事業報告並びに決算報告書

【 い ず み 寮 】

社会福祉法人

ベテスタ奉仕女母の家

**婦人保護事業**

全国婦人保護施設連絡協議会（以下全婦連）は婦人保護事業の中で女性支援の活動を行ってきている。その根拠法である「売春防止法」については、引き続き現状のニーズに見合った法律へと改正に向けて進めている。法律が法務省・厚生労働省にわたっていることからかなり難航していたが、2015年7月に立ち上げた「売春防止法改正実現プロジェクトチーム」が新法の下地となる女性自立支援法＝仮称を示し、いよいよ動き始めている。ロビー活動なども積極的に行い、議員にも周知を図っているが、理解が浸透するまでにはまだまだ時間がかかる。全国的に大きなうねりを作り、改正への流れを一層強化し、婦人保護事業の展開に向けた実効性のある働きを重ねてゆきたい。

**2016年度基本テーマについて検証**

「人と出会い 人とふれあい 人と交わり その中で人との関係を学びあえる暮らしづくり Part II」としてきた。少しずつこのテーマが職員・利用者に浸透している兆しを感じている。この方針が具体的な支援に生かされることを願いたい。

**<施設方針事項の検証>****1 理念；女性の人権侵害への回復にむけて**

売春防止法は60年間、大きな改正もなく経過してきた。今、検証してみれば、「婦人保護事業」（日本でただ一つの女性支援事業）の根拠法としての機能は不十分であり、現実の支援実態（女性たちが置かれている状況）とは大きく乖離していることに気づかされる。今、求められているものは何なのか？現場から見える実態をきちんと整理し、新たな法制定を見据えて、女性の人権侵害への回復支援を理念に掲げてゆきたい。

**《「婦人保護事業」（婦人相談所・婦人相談員・婦人保護施設）を利用する女性たち》にとって婦人保護施設に求められる施設の機能は？**

☆売春・人身取引被害のみならず、性暴力を中核とした暴力被害・虐待・貧困・家庭破綻・障害など、様々な困難を抱え、課題解決や自立に向かう支援には、中長期的な回復支援が必要とされ、さらに多くの関係機関の連携が欠かせない

☆当事者の支援年齢も10代から高齢者まで多岐にわたっており、年齢に応じた支援環境・支援体制が求められているが、かなり困難も多く、今後の大きな課題でもある。

☆支援機能の混在について考察を続ける

1) 地域から隔離し、DVやストーカー被害者などの安全を最優先すべき利用者

2) 地域生活移行を中心に、社会的自立のために、就労支援・家族関係の修復・通院同行などの生活支援を必要とする利用者

☆入退所の繰り返し、精神的不安定など他施設を転々する行き場のない利用者、支援の狭間にある女性たちを取りこぼしてはいないだろうか

## 2 いずみ寮での支援機能を拡げる——法人独自の「女性支援」の場所としての機能展開

あらたにいずみ寮の財産になった「茂木ハウス」の利用について機能を拡げていくことを具体的に進めてみた。当初は「地域サポートシステム」のために活用できないか模索したが、いずみ寮が機能を開くための人的措置が図れない。地域サポートシステムは、あくまでもいずみ寮支援のサポート機能であり活動を一任するわけにはいかない。現状では、いずみ寮の喫茶「シオン」が情報交換・ふれあいの場として有機的に活用されていることを踏まえ、現状の機能を継続させてゆきたい。

そのために新たに「若年女子」；行き場のない女子たちの居場所として利用していく方法を提示し、理事会にも図り、許可を得られている。

家に帰れない（実父からの性暴力など）若年の女子たちの支援は、本来は婦人保護事業が担うべきであるが、現状は民間の手などに託している。具体的には「ボンド・プロジェクト」との連携について進めている。

## 3 いずみ寮利用者にとって必要な支援機能の見直しをもう一度

『暮らしづくり』をテーマに掲げて10年を経過。11年目になった。2012年度には「共に創る暮らしづくり」というテーマを掲げたが、今年度のテーマはそこから発展してきたテーマでもある。

「人が人として生きること」…暴力や虐待などで阻害されてきた利用者には「人として自分を生きる」ことすら苦しいにちがいない。まして「共に生きる」ことなど以ての外というかもしれない。

「生きてきたけれど暮らして来なかった」人々が、出会いを通して、少しずつ変化してきている。じわじわと「暮らしづくり」の仲間に入り、自らの「暮らしづくり」を実践しはじめている。大きな構築の成果と言えるであろう。

## 4 さらなる機能の展開を求めて——「性暴力被害者回復支援センター」（仮称）を立ち上げ性暴力被害者の中長期的支援のための、医療と福祉の総合的相談・生活支援の機能を持つ、「性暴力被害者回復センター」を日本に設置するを目標してゆきたい。2016年9月27日、与党の「性犯罪・性暴力被害者の支援体制に関するPT」に招かれ、婦人保護事業・施設の実態を報告した。その後

11月14日・公明党本部に招かれヒヤリングが行われて。そのプロセスを経てPTより「10の提言」が示され、その中に性暴力被害者への中長期的支援が必要であることが掲げられた。実践につながる流れが始まった。新たな機能の展開である。

### **運営管理**

財政面では元いづみ寮利用者の茂木節子さん（故人）の残余財産を審査後にいづみ寮にも分割してご寄附戴くことができたことは財政上、感謝である。緊迫していた運営上、大きな支援をいただくことができた。

職員の異動も収まり、チーム一丸となって取り組める体制が整えられてきた。職員の入れ替わりは利用者への影響も大きい。安定した職員配置は今後の大きな課題でもある。

いづみ寮利用者には「暴力被害」を受けてきている女性たちが概ね全体の90%になる。特に性的な暴力被害者の深刻な心の傷は、その回復に治療と併せて専門的な支援スキルが求められる。「心の傷」への支援には職員全員に専門的支援スキルが求められる施設である。

心理職員2名を採用が、互いが専門分野をシェアし分野別なアプローチにより取り組み始めている。被害女性への中核的存在として位置し、活動している。専門的機能の強化と言える。回復への成果を評価するには時間が必要であるが、施設機能の中核的位置にあると言える。

### ●<安全管理委員会の設置>

暴力事件を発端に、施設支援のリスクへの取り組みとしてこの委員会が発足した。この委員会の動きは組織的にも画期的であった。利用者の生活内部から生まれたものである。今後も、リスクへの早期解決は勿論だが、利用者を巻き込み、発展的な動きにしてゆきたい。

### ●<施設整備——<ふかつはうす10年目の整備他>

1. ふかつはうす10年目の整備 無事終えることができました。

2. 「平成27年度児童養護施設等の生活向上のための環境改善事業補助金」の助成を受けて今まで手を付ける機会がなく、整備上の課題となっていた門扉・塀・中庭の舗装及び整備を整えることができた。外観も整備され、外部からの侵入も含め、環境整備がなされた事は安全・安心の保障に繋がった。中庭の舗装は、秋のバザーに一役をになった。今後地域との交流の場所にも生かされていくと期待している。

### ●<施設外・施設内研修>

専門性スキルの向上のために、かなり進んだ研修に参加することができた。

支援者のストレスマネジメントは重要であるが、具体的な研修にはなかなか繋がらなかった。

### ●<暮らしづくりへの取り組み>日常支援に生かして

毎年「暮らしづくり」を支援の基本テーマに掲げている。来年度もつなげて行きたい。さらに、この活動が外部への発表の機会につながる機会も多々あるが、施設内では得られない人の交わり、人との関係づくりの場でもあり、機会の提供を広げて行きたいと考えている。

●<利用者主体のプロジェクト>を終えて

利用者の方々の社会性の高さにあらためて感動している

地域生活の経験を多く持たれていたことも想像できるが、様々に発展している IT を駆使する力を持っていることでもある。偏っているが高い社会性が伺われる。地域生活に移行しても「余暇生活」を楽しむ力につながることを想像できる。嬉しい事である。しかし、企画できない人もあり、そこに介入して経験値を踏んで行くことを重ねたい。

●<自立生活・地域生活への支援>

独自に活用している「地域サポートシステム」はボランティア組織により退所者の地域生活への実践サポートを立行っているが、支援の成果が年々深まっている。全くのボランティアではあるが、「寄り添う」ことを主眼に置き密着した支援には大きな評価をしたい。事業で決められている予算内では人件費にも追いつかず、「地域サポートシステム」のメンバーによる支援なくしてはきめ細かな個別な生活（病院同行・室内掃除・料理・金銭関係など）への支援には到底おいついて行けない。この活動の経済的支援の場面を支えているのはいずれも寮後援会である。この支援により有機的な活動実践実態として、今後も社会的にも広めて行きたいと考えている。

I 基礎データ 2016

1 在寮者の推移

(1) 本入寮

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入寮者	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1	8
退寮者	0	1	2	1	0	1	0	1	0	3	0	0	9
在籍数	714	745	720	707	682	657	651	623	644	646	554	662	8005

(2) 緊急一時保護

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入寮者	2 (2)	0 (0)	3 (4)	3 (3)	2 (3)	4 (5)	1	0	3	4 (3)	0	2 (2)	24 (22)
退寮者	1 (1)	2 (2)	2 (3)	2 (2)	4 (5)	2 (2)	2 (3)	1	1	4 (1)	2 (2)	1 (1)	24 (22)
在籍数	25 (25)	21 (21)	31 (43)	40 (40)	41 (57)	50 (55)	28 (25)	15	29	63 (22)	15 (15)	38 (38)	396 (341)

(3) 練馬区緊急一時保護

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入寮者	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4 (0)
退寮者	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4 (0)
在籍数	15	18	3	0	0	0	0	0	0	9	2	0	47 (0)

( )は同伴児・同伴者数

2 職員

施設長 横田千代子  
 副施設長 伊比鮎子  
 事務員 藤巻ひとみ  
 支援員 池田恭子(2017. 3. 31退職)  
 柴田智子  
 高橋美帆  
 小林みゆき(2016. 7.31退職)  
 平 倫子(2016. 4. 1入職)  
 非常勤支援員 見城幸子(2016. 4産休へ)箱崎幸恵(2017. 3. 31退職)  
 渡部厚子(2016. 4産休代替)  
 栄養士 宮崎東海

看護師 東海林広美  
 調理員 風見百合子  
 非常勤調理員 渋谷治雄  
 澤田頼子  
 庵奥晴子  
 施設設備 矢島一夫(事務員兼務)  
 小幡勇治  
 心理療法職員 坂本州子  
 中川浩子

◎宿直アルバイト: 大高綾子、河原井純子、中山貴子、森田恵、知久愛美、後藤暢子、山浦順子、参沢くみ子、水上茜、鈴木美里、皆川楓華、森田詠子、柳生美咲、白浜あゆみ、河原寿美、蜂谷祐季

## 2016年度 入退寮名簿

2017. 3. 31 いずみ寮

## (入寮)

	氏名	入寮年月日	年齢	入所理由	福祉事務所
1	YS	2016.4.8	40代	知人の暴力	S区
2	SS	2016.5.13	30代	居所なし	K区
3	IN	2016.5.24	20代	居所なし	S区
4	TM	2016.12.14	40代	居所なし	K区
5	KM (短)	2016.12.26	40代	居所なし	T区
6	OS	2017.2.15	40代	DV 居所なし	S区
7	YA (短)	2017.2.21	20代	妊婦	O区
8	OY (短)	2017.3.17	30代	居所なし	K区

\*2016年度から短期支援利用者の入所、妊産婦入所が開始した。いずれも入所後1ヶ月、3ヶ月に生活状況、対人関係、課題について、本人、担当福祉事務所の相談員、東京都女性相談センター相談員、いずみ寮で振り返りを行い、本入寮となる。

## (退寮)

	氏名	退寮年月日	入寮年月日	在寮期間	退寮理由	退寮先	退寮者ケア
1	KT	2016.5.5	2016.2.12	2ヵ月	自主退所	弟宅	
2	WY	2016.6.14	2012.9.7	3年9ヵ月	自主退所	センター	
3	SM	2016.6.16	2011.6.14	5年	退院後再入院	アパート	○
4	ME	2016.7.25	2011.6.1	5年1ヶ月	自立	アパート	○
5	YF	2016.9.27	2016.3.31	5ヵ月	自主退所	知人宅	
6	SI	2016.11.23	2016.3.8	8か月	無断退寮	不明	
7	NR	2017.1.1	2013.10.4	3年2ヵ月	無断退寮	男性宅	
8	GK	2017.1.25	2015.1.26	1年11ヶ月	自立	アパート	
9	NA	2017.1.31	2012.7.4	4年6ヶ月	施設移管	知的 GH	

## II 組織運営（委員会・会議）

委員会・会議	年間実施回数	会議日
・運営委員会	12回	第1月曜日（原則）
・職員会議	12回	第1金曜日（原則）
・スタッフ会議	12回	第3金曜日（原則）
・ケース会議	34回	毎週金曜日 AM
・総括会議	3回	1月～3月
・危機管理委員会	10回	第3月曜日（原則）
・安全管理委員会	4回	4月26日、6月28日、10月25日、2月7日
・自立支援会議	1回	7月6日
・支援会議	2回	11月30日・3月7日
・業務連絡会	2回	9月16日、2月1日
・トライアングル会議	2回	適宜

## III 利用者支援業務

### 1 日常生活支援

- (1) 個別支援プログラム作成 4月～5月
- (2) お部屋訪問 毎月第1金曜日・・・年間12回実施
- (3) フロア会議 各4フロア・・・年間各8回実施
- (4) 暮らしづくりミーティング・・・年間7回実施
- (5) 全体協議会（年間6回実施）18：30～20：30
- (6) 余暇生活支援

○サークル活動 <月別参加利用者数>

#### 【聖書の会 元職員】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加人数	8名	8名	6名	8名	7名	7名	9名	4名	3名	6名	5名	6名

#### 【コールフォンテ（合唱） 外部講師】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加人数	4名	5名	6/4 6名 6/30 6名	6名	6名	5名	5名	4名	3名	4名	3名	4名

\*発表会：後援会総会コンサート（6月）・クリスマス会（12月）

#### 【リズムクラブ（ハンドベル） 外部講師】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加人数	6名	8名	9名	9名	6名	6名	5名	3名	3名	3名	3名	2名

\*発表会：後援会総会コンサート（6月）・クリスマス会・イヴ礼拝（12月）

#### 【絵画教室 外部講師】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加人数	5名	6名	3名	7名	6名	4名	6名	9名	6名	—	—	9名

\*ワイヤーアート、お正月飾り、グリーティングカード、粘土、貼り絵、名札作り、水彩

\*1月～2月は、風呂工事のため休止



【写真教室 外部講師】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加人数	5名	3名	5名	6名	—	6名	—	5名	5名	5名	5名	5名

\*写真撮影会：三宝寺池、井の頭動物公園、神代植物公園、ふかつはうす、神代植物公園

\*地域の「写真コンテスト」に5名出品。全員、受賞。

【ソシオエステ 外部講師】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加人数	9名	13名	8名	8名	—	8名	—	8名	8名	8名	10名	12名

\*5月：ナチュラルメイク講座

\*7月：アロマオイルマッサージ

\*12月：クリスマス祝会のためのメイク・ヘアメイク

【やんわり体操 外部講師】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1
参加人数	8	7	7	9	7	6	0	4	4	6	8	9

\*ストレッチや腰痛予防など個別性のある体操を実施。

(7) プロジェクト

①利用者自主企画（グループ・参加人数）

行き先および内容	実施日	参加利用者	職員
銀座・両国・新宿（歌舞伎座）	2016. 8. 22～8. 23	3名	1名
府中（温泉、カラオケ）	2016. 11. 14～11. 25	2名	1名
合計：グループ		5名	2名

②プロジェクト委員会企画（グループ・参加人数）

行き先および内容	実施日	参加利用者	付添職員
お台場ビッグトップ（シルク・ド・ソレイユ）	2016. 6. 15	2名	2名
横浜・中華街	2016. 11. 14～11. 15	2名	1名
福島県（スパリゾート・ハワイアンズ）	2016. 12. 7～12. 8	2名	1名
八景島シーパラダイス	2017. 3. 14	2名	2名
合計：グループ		8名	6名

(8) 利用者向け研修

研修名	日付	内容	講師	参加人数
第三者委員と話そう	5月12日	第三者委員とディスカッション	第三者委員	利用者：12名
女性のからだ講習会（肥満の話）	2月13日	日常的にできる効果的な肥満予防	外部講師	利用者：10名 職員：4名

精神科 Dr との Q&A	7月4日① 8月15日②	利用者の質問に答える	精神科 Dr	利用者：12名 職員：3名
暮らしづくり講座	3月31日	「らしさって何だろう？」	外部講師	利用者：6名 職員：2名

## 2 地域生活支援

### (1) 地域交流

- ・ ショップ会議：月1回（第1金曜日 17：30～）に職員が参加
- ・ OMN（大泉まちづくりネット）定例会：隔月第1金曜日 17：30～に職員が参加

### (2) 地域行事

- ・ 第27回わかばの集い：2016年6月1日（水）11：00～13：30 和光樹林公園  
→ 近隣12施設＋大泉保健相談所＋当日の見学者 合計180名が参加。  
いずみ寮から22名（利用者、退寮者、スタッフ）が参加。
- ・ 落ち葉清掃：2016年12月8日（木）近隣道路清掃  
→ いずみ寮利用者3名、スタッフ3名が参加。
- ・ 歌声広場：2016年7月30日（土）  
→ 内容：地域から施設利用希望あり。いずみ寮 COCO アートの会場を提供。  
参加者60名（内利用者8名）

### (3) ボランティアについて

- ・ ボランティアの集い： 2016年4月15日（金）  
参加者 ボランティア13名、職員6名
- ・ クローバーの会： 2016年7月1日（金）参加者：ボランティア4名スタッフ3名  
2017年3月24日（金）参加者：ボランティア4名、スタッフ4名

### ○行事ボランティア

行事名	所属
夏の宵涼み	地域サポーター、実習生、その他
地域ふれあいバザー in いずみ寮	大泉ベテル教会員、自衛隊、実習生、旧職員、大学生、作業ボランティア、地域サポーター、退寮者、その他

- ・ 裂き織りボランティア（毎週火・金曜日）（11名）
- ・ シオンボランティア（2名）
- ・ 食事サービスボランティア（6名）  
：近隣高齢者施設ケアビレッジ（小規模多機能居宅介護）へいずみ寮で作った昼食を提供している。

### ○毎月第2・3火曜日の延べ配食数

	延べ配食数		延べ配食数		延べ配食数
4月	40食	8月	（夏休）	12月	30食

5月	40食	9月	20食 (前半夏 休)	1月	30食
6月	40食	10月	30食	2月	30食
7月	20食 後半夏休	11月	30食	3月	30食

(4) 生活技術プログラム (料理講習) 毎月1回 外部講師1名

No	日時	内容	利用者	職員
1	4/18 (月) 9:30~13:30	コロッケ、付け合わせ (さつまいもサラ ダ、ブロッコリー)、切り干し大根煮物、 味噌汁、ご飯、チョコレートムース	3名	2名
2	5/22 (月) 9:30~13:30	炒飯、牛肉とピーマンの細切り炒め、卵 スープ、杏仁豆腐	2名	2名
3	6/27 (月) 9:30~13:30	お好み焼き、キュウリとモヤシのナム ル、玉ねぎサラダ、焼きおにぎり、アイ スクリーム	3名	1名
4	7/25 (火) 9:30~13:30	豚肉とキャベツの黒酢炒め、大根サラ ダのアボガドのせ、アスパラのベー コン巻き、白玉入り冷やしぜんざい	2名	1名
5	9/19 (月) 9:30~13:30	ボルシチ、シーザーサラダ、ココアプリ ン	2名	2名
6	10/29 (土) 9:30~13:30	パンプキンシチュー、千切り野菜のマ リネ、ココアババロア	2名	1名
7	1/14 (土) 9:30~13:30	鶏のからあげ、筑前煮、千切り野菜のマ リネ、金時豆の甘煮、チョコレートム ース	2名	2名
8	2/13 (月) 9:30~13:30	赤飯、茶碗蒸し、すまし汁、鶏の照り焼 き、 コーヒーゼリー	2名	1名
9	3/25 (土) 9:30~13:30	ハンバーグ、付け合わせ (人参グラッ セ、粉ふき芋)、コールスロー、コンソ メスープ、フルーツポンチ	2名	1名
10	3/27 (月)	外部講師との振り返り		1名

(5) ステップハウス「ベテルの家」利用実績 →母子交流・自立に向けての練習

	期間	利用者名	利用目的	利用場所
1	4~6月 (3ヵ月)	MR	自立訓練	2F和室
2	4/4~4/18(15日間)	NJ	休息	2F洋室
3	4/5 (半日間)	NH	休息	1F
4	4/29~4/30 (2日間)	SM	母子交流	1F
5	5/3~5/5 (3日間)	HI (退寮者)	母子交流	1F
6	5/22 (1日間)	OJ	休息	1F
7	7/16 (1日間)	IN	休息	1F
8	7/18 (半日間)	NH	休息	1F
9	8/11~8/13 (3日間)	HI (退寮者)	母子交流	1F
10	9/5 (1日間)	TK	休息	1F
11	9/15~2017.1/25 (4ヵ月+10日間)	GK	自立訓練	2F洋室
12	9/28 (1日間)	TK	休息	1F
13	9/29 (半日間)	OH	休息	1F

14	10/1 (1日間)	IN	休息	1F
15	10/8~10/10 (3日間)	HI (退寮者)	母子交流	1F
16	10/21~10/23 (3日間)	法人関係者	宿泊施設として	1F
17	11/25 (半日間)	OH	休息	1F
18	12/7 (半日間)	NH	休息	1F
19	12/15 (半日間)	OH	休息	1F
20	12/23~12/25 (3日間)	HI (退寮者)	母子交流	1F
21	12/31~2017.1/1 (2日間)	NM	休息	1F
22	2017.1/3 (半日間)	NH	休息	1F
23	1/4 (半日間)	地サポサロン	新年会	1F
24	1/28 (1日間)	OJ	クッキー作り	1F
25	2/22~ (利用中)	IK	休息→自立訓練	2F洋室
26	3/28 (1日間)	OH	休息	1F

※浴室工事 (2017年1月23日~2月3日) の間、ベテルの家の浴室 (1F/2F) を使用。

### 3 自立支援 (自立支援スペース)

#### (1) COCOアートいずみ、シオン

##### ◇収支報告

収入		支出	
内容	金額	内容	金額
シオン	290,973円	利用者給料	714,490円
裂き織り	487,690円	事務費	21,670円
ハーブ	20,900円	材料費	239,869円
編み物	26,900円	シオン券	53,350円
つまみ細工	26,000円		
利用者作品その他	140,925円		
その他	34,005円	雑費	7,762円
出店	241,850円		
ショップ学園通り	11,475円		
いずみ市	(未実施) 0円		
寄付金	12,261円		
預金利息	37円		
雑収入	200円		
収入合計	1,293,216円	支出合計	1,037,141円

##### ◇出店等報告

月 日	出店等販売名	売り上げ (円)
4月6日	大泉ボランティアコーナー	1,300円
4月27日	婦人相談員新任研修	7,350円
5月17日	カレッジ祭	42,600円
6月4日	後援会総会コンサート	9,450円
7月4日	大泉総合福祉事務所出店	22,600円
7月6日	自立支援会議	4,400円
7月20日	女性相談センター本所出店	55,000円
7月30日	歌声ひろば	8,050円
11月12日	地域交流バザー	57,150円
11月28日	婦人相談員懇談会	2,150円
12月6日	女性相談センター多摩支所出店	17,150円

12月22日	クリスマス会	14,650円
合計		241,850円

◇COCOアートいずみミーティング：年間10回実施

◇シオンミーティング（毎月末に1回）：年間11回 シオンボランティア+利用者+職員

◇レインボーワーク（練馬区障害者就労促進協会）の就労支援 隔月1回来寮 希望  
利用者と面接実施

#### 4 退寮者自立支援

##### (1) 2016年度自立生活援助事業対象者援助実績

No.	退寮者	電話	手紙	メール	訪問	来所	同行	関係機関調整	行事参加	その他	援助の概要
1	A	45	0	0	10	13	0	18	1	0	生活・就労相談 母子関係調整 関係機関連絡・調整 訪問 行事招待
2	B	69	0	0	12	34	24	65	7	1	生活相談 母子関係調整 関係機関連絡・調整 訪問 金銭・就労支援
3	C	94	0	0	12	15	5	64	4	0	生活相談 家族及び関係機関連絡・調整 金銭・就労支援 訪問
4	D	75	0	0	12	40	8	43	1	0	生活・就労相談 母子及び関係機関連絡・調整 金銭支援 訪問 行事招待
5	E	9	0	0	12	0	0	1	0	0	生活・就労相談 関係機関連絡・調整 訪問 行事招待
6	F	20	0	0	8	3	1	5	1	0	生活相談 関係機関連絡・調整 就労支援 訪問 行事招待
7	G	12	0	0	8	1	0	3	1	0	生活・就労相談 家族及び母子関係連絡・調整 訪問 行事招待
8	H	48	0	0	12	9	5	32	1	0	生活・就労相談 母子及び関係機関連絡・調整 訪問 金銭支援 行事招待
9	I	6	14	0	8	0	0	6	0	0	生活相談 関係機関連絡・調整 訪問 就学支援 行事招待
10	J	48	0	0	8	18	12	24	0	0	生活・就労相談 母子及び関係機関連絡・調整 訪問 金銭支援 行事招待
合計		426	14	0	102	133	55	261	16	1	

\*今年度は金銭や健康管理に支援を求められる年度となった。

\*退寮直後は順調であっても徐々に金銭管理ができなくなり、練馬区の権利擁護事業など社会資源を活用しても、定期的な関わりが必要となった。

\*健康面では糖尿病など成人病を抱える方が増え、重症化している。生活習慣の見直しについて支援が求められる。

\*母子関係は児童相談所・児童養護施設と連携しながら、安定した関係が保てるよう取り

組んだ。

(2) 2016年度自立生活援助事業対象者外支援実績

退寮者数	電話	手紙	メール	訪問	来所	同行	関係機関調整	行事参加	その他	援助の概要
51	974	2	0	91	※268	71	366	41	6	生活・健康相談 受診・諸手続き同行 訪問 清掃 金銭対応 家族調整 行事招待

※退寮後近隣の高齢者ケアハウス入所中の方が、本人の希望により自立支援スペースにて作業参加。週5日、日中活動の支援を行っている。

(3) 地域サポートシステム

地域サポートシステム 2016年度自立生活援助事業対象者援助実績

No.	退寮者	電話	手紙	メール	訪問	サロン	同行	関係機関調整	行事参加	食事	その他	援助の概要
1	A	1		0								生活相談
2	B	142		21	3	4	23	2	4			生活・健康相談 母子及び関係機関連絡・調整 訪問 金銭支援 同行支援 行事招待
3	C	51		94	23	2	3	1	2			生活・就労相談 母親及び関係機関連絡・調整 訪問 掃除支援 行事招待
4	D	2		0			1		1			生活・就労相談 関係機関連絡・調整 同行支援 行事招待
5	E											行事招待
6	F	18		0	1		3		1			生活・就労相談 訪問 同行支援 行事招待
7	G											行事招待
8	H	0		0					1			生活相談 行事招待
9	I	0		0								行事招待
10	J	2		0								生活相談 行事招待
合計		216	0	115	27	6	30	3	9	0	0	

地域サポートシステム 平成28年度自立生活援助事業対象者外援助実績

退寮者数(人)	電話	手紙	メール	訪問	サロン	同行	関係機関調整	行事参加	食事	その他	援助の概要
13	376	1	82	9	31	31	0	16	4	2	生活・就労相談 母子及び関係機関調整 訪問 掃除 同行支援 行事招待

\*発足より4年目を迎え、毎月行われるサロン(退寮者とサポーターの交流の場の提供)を中心に活動を行っている。

\*サポーターを対象とした講習会を行いながら、対応については、サロンの開催の前に、情

報の共有や理解を深めるミーティングを行っている。(コーディネーター+サポーター+職員)

\*今年度はいずみ寮を自立退寮した利用者が3名となり、対象者が増えたことでサポーターを増員に取り組んでいる。 現在サポーター：9名

## 6 健康支援

(1) いずみ寮健康診断：2016年4月13日に実施。…利用者 15名 職員 15名

(2) 新入寮時健康診断 2016年4月～2017年3月の間の新入寮者 7名

(3) がん検診

子宮頸がん：2名、乳がん：4名、大腸がん：4名、胃がん：3名、肺がん：2名

\*がん検診受診者が少ない…検診の有効性や自治体の制度について個別対応の必要有り。

(4) 通院状況 2016年4月～ 2017年 3月末

	科	単独通院	同行通院	病名
(1)	精神科 25 (名)	185回	142回	統合失調症・双極性障害・複雑性PTSD・不眠・自閉症スペクトラム障害・外傷性PTSD・片頭痛・頻尿
(2)	内科	105回	64回	高血圧・脂質異常症・肝機能障害・脂肪肝・甲状腺機能亢進症・シェーグレン症候群・C型肝炎・重症便秘症・過敏性腸炎・頻尿
(3)	歯科	150回	28回	齲蝕・歯周病治療後に定期的スクレーリングを実施・義歯調整
(4)	整形外科	35回	7回	椎間板ヘルニア・腰痛症・変形性膝関節症・降雪時転倒して捻挫・人工関節前置換術経過観察
(5)	眼科	19回	8回	アレルギー性結膜炎・ドライアイ・視力低下により眼鏡作成希望・コンタクトレンズ処方・練馬区眼科(緑内障等)健診受診
(6)	婦人科	18回	14回	月経前症候群・子宮筋腫・子宮内膜症・卵巣嚢腫・STD
(7)	外科	5回	5回	乳がん検診
(8)	皮膚科	39回	6回	食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・接触性皮膚炎・白癬菌
(9)	耳鼻科	29回	4回	頭鳴症・花粉症・アレルギー性鼻炎・突発性難聴
(10)	泌尿器科	6回	3回	神経因性膀胱による尿閉のため自己導尿中

(5) 入院状況について

	期間	入院先
1	2015年8月5日～2016年7月25日	O病院
2	2016年5月30日～31日(高圧浣腸)	M病院
	2016年6月4日～27日(応急入院)	M病院
	(2016年6月30日混迷で救急搬送)	J病院
3	2016年8月30日～9月24日(休息入院)	O病院
4	2016年10月6日～12月5日(任意入院)	O病院

(6) 感染症対策について

今年度インフルエンザと共に感染性胃腸炎の集団発生なし。

## 7 栄養支援

(1) 食事の提供

◎栄養量＜2016年度 常食目標と給栄養量＞

	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンA
目標量	1750kcal	75g	45g	600mg	10mg	600g
摂取量	1739kcal	75g	42g	617mg	10mg	617g
	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC			
目標量	1.10mg	1.10mg	100mg			
摂取量	1.03mg	1.26mg	119mg			

- ・炭水化物エネルギー比 61%
- ・脂質エネルギー比 17%
- ・タンパク質エネルギー比 22%
- ・食塩相当量 10g

(月1回の選択食、外注、行事食は、含まれていない)

(2) アレルギー除去食の提供

小麦粉・大豆・大豆製品・ナッツ・トウモロコシ・キウイフルーツ： 1名  
 刺激物・香辛料・カニ・カニ加工品・酢・ドレッシング・日本そば・さば・キウイフル  
 ーツ・バナナ・山芋・長芋・中華麺

(3) 3食欠食者について

\*今年度の目立ったこととして、1名の3食欠食者がいた。

(4) 嗜好調査

(回収率25%だったが、ほぼ満足しているとの回答をいただく)

(5) 選択食

8 生活安全支援

- (1) 防災計画の策定と、石神井消防署への提出
- (2) 救急救命講座の受講(8月29日)
- (3) 石神井警察による不審者侵入の訓練・講話(1月15日)
- (4) 地域交流バザー実施の届け出(「消防活動上支障ある行為等の届出書」)
- (5) 自衛消防訓練・防犯訓練の実施

<2016年度自衛消防訓練・防犯訓練実施状況>

NO	実施日	想定	参加人数
1	4月21日	地震	職員9人 利用者13人
2	5月27日	火災(厨房)	職員9人 利用者16人
3	6月27日	火災(シオン)	職員7人 利用者9人
4	8月10日	地震後近隣より火災	職員7人 利用者10人 実習生1人
5	8月27日	火災(近隣建造物) ※休日の早朝を想定	職員1人 利用者16人 宿直アルバイト1人
6	9月27日	地震 ※放送機器使用不可を想定	職員8人 利用者7人 退寮者1人 ボランティア2人
7	10月31日	地震 ※ステップハウス利用者	職員3人 利用者1人



		安否確認	
8	11月28日	不審者侵入	職員8人 利用者5人 退寮者1人
9	12月14日	不審者侵入 ※夜間を想定	職員8人 利用者16人 宿直アルバイト2人
10	1月15日	不審者侵入 ※警察官による訓練	職員4人 利用者13人 宿直アルバイト1人
11	1月18日	火災（東館・西館入口付近）	職員4人 利用者8人 退寮者1人
12	2月14日	地震 ※テラスが避難経路として 使用不可の想定	職員7人 利用者7人 実習生2人
13	3月23日	火災（シオン）	職員6人 利用者11人

(6) 消火機器の確認、非常持出袋、非常食の点検

(7) 緊急時対応マニュアルの更新、配布は実施できていない一次年度の課題

## 9 心理

・現在、心理担当職員が2名おり、主にトラウマ治療（フラッシュバック等トラウマ反応の軽減）とフェミニスト・カウンセリング（ナラティブ“語り”をベースとしたカウンセリング）という異なるアプローチを実施している。各利用者のニーズに適したアプローチによる心理療法を提供している。いずれのアプローチが適切かの判断には、一義的には主治医の方針を尊重し利用者の混乱を避けるようにしている。

◎中川心理

### (1) 個別面接

<緊急一時保護>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			1		1				2		1

<本入寮> 利用者数：30名（途中入寮、退寮者を含む）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
56	57	36	46	50	52	59	45	40	39	40	27

### (2) SST（社会技能訓練）

実施日	回数	利用者参加人数（ ）内はスタッフ	テーマ
4/12	6	8名(+2名)	とっさの時に反応して身を守る
5/24	7	8名(+3名)	病院で自己主張
6/21	8	7名(+2名)	クレームへの対応
7/26	9	5名(+3名)	ぴったりのことばで断る
9/6	10	5名(+4名)	相手の話をきちんと聴く
10/11	11	6名(+5名)	怒りのコントロール
11/29	12	7名(+3名)	ストレスのコントロール
12/27	13	5名(+2名)	平気なふりをしない
1/31	14	3名(+2名)	苦手な人との付き合い方

2/17	15	5人+(4人)	自分をオープンにする
3/21	16	7人+(2人)	職場でのふるまい

(3) GHQ 実施…全員に 4 月、10 月実施

◎坂本心理

継続面接実施者	12名
延べ面接回数	333回
面接内容	<p>&lt;各種テスト&gt;          JIBT-R (不合理な信念=自己期待・依存・回避・外的無力感・内的無力感)          DACS (否定的自動思考=将来否定・脅威予測・自己否定・過去否定・対人関係脅威度)</p> <p>GHQ30</p> <p>&lt;診断方法&gt;          ライフスタイル診断法</p> <p>&lt;心理療法の技法&gt;          EMDR ・ホログラフィートーク ・TFT ・ブレインジム          リラクゼーション ・イメージ療法 ・自律訓練          ・RDI+パタフライハグ ・多重人格改善のためのセラピー</p> <p>&lt;社会性トレーニング&gt;          挨拶 ・敬語の使い方 ・相手を傷つけないで頼む・断る、これらをロールプレイで練習した。          面接場面の練習 =ロールプレイで身につく練習。</p> <p>&lt;生活力について心理教育&gt;          責任 ・親切とおせっかいの違い ・信頼 ・協力 ・常識等について</p> <p>&lt;自尊心を高める為の個人レッスン&gt;          テキストに沿って思い込みの癖を自分で気づき改善する</p>
経過	<p>JIBI-R DACS の結果は、標準値まで下がった。          解離の大幅な低下があった。          感情のコントロールが可能になった。          多重人格の消失          トラウマ体験の軽減          過去からの脱却→自分の生き方に目を向けるようになった。          認知の修正は、徐々にではあるが改善しつつある。          感情的な安定が見られるようになってきている。</p>

1 2行事

- 4月16日 イースター
- 5月7日 MSさん納骨式
- 5月11日 内部監査
- 5月14日 ボランティアの集い
- 6月1日 わかばのつどい
- 6月4日 後援会総会 コンサート (心の鐘を響かせて)
- 6月22日 居室替え
- 7月29・31日 第三者評価聞き取り調査
- 8月27日 夏の宵涼み
- 9月22日 ベテスダの日
- 9月24日 ゆきわりそう「不戦賛歌」参加
- 10月26日 ベテル教会家庭会
- 11月12日 地域交流バザー

12月8日 落ち葉掃き

12月22日 クリスマス祝会

12月24日 イヴ礼拝

#### IV 運営管理上の業務

##### 1 施設設備

##### (1) 日常整備・点検

4月	・電気設備年次点検 ・非常火災通報装置点検 ・不用品整理 ・緊急インターホン修理 ・居室不調の鍵交換 ・暖房用ボイラー修理
5月	・草取り剪定 ・犬小屋屋根設置工事
6月	・草取り剪定 ・キュービクル点検 ・ガス安全装置交換 ・大掃除 ・居室カビ取り ・居室天井旧換気口閉鎖
7月	・施設内消毒 ・アシナガバチ駆除 ・通路砂利敷設 ・調理場排水管高圧洗浄 ・ふかつ2階毛虫駆除 ・居室物干し改修 ・トイレ詰り修理
8月	・キュービクル点検 ・草取り ・テレビ修理
9月	・草取り剪定 ・空き居室整備 ・居住棟トイレドア補修 ・電話子機修理
10月	・非常火災通報装置点検 ・キュービクル点検 ・ふかつ2階テーブル修理 ・調理場水栓部品交換 ・電話回線雑音修理 ・草取り ・バザー倉庫整理 ・居室カビ取り ・樹木剪定(西館窓際)
11月	・シオン入口ドア隙間補修 ・トイレ詰り修理 ・ふかつ2階畳替 ・ふかつ2階風呂排水栓修理 ・落葉清掃 ・食堂ドア補修 ・フロンガス点検 ・シオン展示レール設置 ・中庭コンクリート目地補修 ・居住棟ベランダ清掃 ・窓清掃 ・居室カビ取り
12月	・キュービクル点検 ・落葉清掃 ・グリストラップ清掃 ・居室カビ取り ・居住棟洗濯機排水口清掃 ・管理棟床ワックス清掃 ・雨樋清掃 ・大掃除
1月	・「警察官立寄」表示設置 ・ゆうせん放送機器交換 ・水道メーター移設 ・倉庫整理 ・非常食整理 ・空き居室整備 ・ふかつ2階洗濯機排水修理 ・喫煙所脇水道蛇口交換 ・電気温水器撤去 ・生ごみ処理機設置
2月	・キュービクル点検 ・食堂流し給湯器交換 ・ふかつ2階クッションマット設置 ・生ごみ処理機屋根設置 ・東2階流し水漏れ修理 ・倉庫整理 ・東2階居室妊産婦対応 ・樹木剪定(サクラ他) ・シオン展示レール設置
3月	・樹木伐採(エノキ) ・管理棟1階LANケーブル設置 ・医務室カーテン取付 ・庭防草シート設置 ・西1階トイレ修理 ・浴室清掃用具入取付

##### (2) 環境改善事業工事

① 管理棟浴室改修工事(中規模修繕)	
工事期間	平成29年1月10日 ~ 3月15日 引渡検査:3月20日
工事内容	既存の大浴室(4,5人用)及びシャワー室2基を、中浴室(2,3人用)、個室、シャワー室2基へと改修した。合わせて浴室・脱衣室の床、天井、壁を新しくし、エアコンや浴室暖房機なども新たに設置した。工事費の1/2が東京都より補助された。

② 防犯対策強化工事 (i 北側塀改修工事、ii 防犯カメラ更新増設工事、iii 110番通報装置設置工事)	
工事期間	i) 平成29年2月16日 ~ 3月25日 引渡検査:3月25日 ii) 平成29年2月13日 ~ 2月14日 引渡検査:2月14日 iii) 平成29年3月13日 ~ 3月13日 引渡検査:3月13日
工事内容	i) 既存のフェンスをより高く、内部が見えないアルミ製の塀に改修し、古くなった東門扉を鍵のかかる新しいものに交換した。 ii) カメラをより高画質のものに替え、台数を4台から6台に増やした。合わせて記録装置も新しくした。 iii) 110番指令センター直結の110番通報装置を設置し、不審者対応時などの通報をより迅速確実に行えるようにした。 以上の工事費の3/4が東京都及び国庫より補助された。

## 2 権利擁護

◇第三者委員への投書： 0 回

◇苦情解決 みんなのポスト集計

(1) 投書件数 181 件

(2) 苦情内容

1-職員対応	2-利用者トラブル	3-生活上	4-その他
29	89	54	9

(3) 要望

1-話を聞いてほしい	2-話し合いの場を持ってほしい	3-施設の回答がほしい	4-改善してほしい	5-調査してほしい	6-その他
8	0	26	143	0	4

(4) 記名/無記名

無記名	記名
158	23

◇第三者評価： (株)生活構造研究所により受審

◇インシデントレポート・事故報告

(1) 件数 134 件

(2) 内容

内容	件数	内容	件数
不帰	6 件	個人情報・秘匿情報	7 件
自傷行為	12 件	金銭問題	1 件
暴言暴力・不穏行動	24 件	不審者	15 件
盗難	7 件	スズメバチ害虫	6 件
紛失	11 件	設備関係	8 件
誤薬・薬関係	23 件	警備関係	3 件
救急搬送	2 件	環境	5 件
事故	8 件	合計	134 件

\*2016年10月～2017年1月まで頻回に同一人物の不審者が来寮し、警察対応することが続いた。

## 3 研修

◎職員 施設内研修

日付	内容	講師	参加職員
10月13日	Aシュベスターのお話し	Aシュベスター	12名
6月4日	暴力被害者支援研修①	外部講師	4名
11月22日	暴力被害者支援研修②	外部講師	4名
1月24日	ケースワーク研修「胎児性アルコール症候群」	外部講師	6名
1月30日	ケースワーク研修「知的障がい者の就労」	外部講師	10名
1月31日	売春防止法研修	外部講師	9名

	「女性自立支援法に向けて」		
2月14日	ケースワーク研修「少年院教官として伝えたいこと」	外部講師	8名+実習生2名
2月23日	ケースワーク研修「リプロダクティブライツ」	外部講師	7名+実習生2名
3月22日	生と性の学習会研修「女性のライフサイクルと健康」	産婦人科医師	8名
3月23日	組織マネジメント研修	外部講師	14名
3月31日	健康な身体へのアプローチ	外部講師	11名
毎月1回	Dr連絡会（毎月1回）	精神科Dr	全10回

◎スタッフ 施設外研修等

月日	場所・内容	参加者	主催者等
4月14・15日	新任研修	新任2名	東京都女性相談センター
4月24・25日	若草プロジェクト（京都）	施設長	若草プロジェクト
5月18日	従事者会（新任研修）	新任2名	東社協婦人保護部会
5月25日	練馬区男女共同参画課DV会議	2名	練馬区
6月23・24日	救世軍本営 売防法60年	施設長他1名	全婦連（売防法改定PT）
6月30日	従事者会「医務」	看護師	東社協婦人保護部会
7月8日	東京都女性相談センター「心理」	心理士	東京都女性相談センター
7月13日	従事者会「婦人補導員院見学」	2名	婦人保護部会
7月14・15日	民営施設長会（広島）	施設長	全婦連
7月15日	関東甲信越ブロック会議（山梨）	1名	東京都女性相談センター
7月28日	街歩きスタディツアー COLABO	4名	東社協
8月25日	研修報告会（沖縄研修）	施設長他1名 （実習生2名）	東社協
9月8日	全婦連シンポジウム	施設長	全婦連
9月29・30日	大阪研修	2名	東社協婦人保護部会
10月20日	厚生労働省表彰式・シンポジウム	施設長他1名	厚生労働省
10月29・30日	全国シェルターネット大会（大分）	施設長	全国シェルターネット
11月7日	売防法制定60年	施設長他2名	全婦連
11月9日	練馬区男女共同参画課DV会議	1名	練馬区
11月10日	東京都女性相談センター医務連絡会	看護師	東京都女性相談センター
11月10・11日	全国婦人保護施設等指導員協議会（栃木）	施設長他1名	全婦連
11月25日	従事者会（退寮者）	1名	東社協婦人保護部会
11月26・27日	YWCA サバイバーと協働するための支援者トレーニング	施設長他1名	YWCA

11月28日	婦人相談員との懇談会	施設長他2名	東社協婦人保護部会
12月13日	児童女性連絡会 慈愛寮見学	心理士	東社協児童女性連絡会
12月15日	練馬区拡大実務者会議	施設長他1名	練馬区
12月19日	関東医療少年院クリスマス会	施設長他2名	関東医療少年院
1月19日	従事者会（栄養士）婦人寮	栄養士	東社協婦人保護部会
1月20日	関東ブロック会議	施設長他1名	全婦連
1月26日	性暴力被害者支援「性虐待を生き延びる」	施設長他1名	児童相談所治療指導課
2月9・10日	民営施設長会	施設長	全婦連
2月22日	従事者会（同伴児童）	1名	婦人保護部会
3月5日	セックスワーカーについて考える	施設長他1名	女性の安全と健康のための支援教育センター
3月13日	東京都女性相談センター心理連絡会	心理士	東京都女性相談センター
3月16日	東京都女性相談センター栄養士連絡会	栄養士	東京都女性相談センター

\*研修報告会 第1回12月29日 8名参加

第2回3月29日 6名参加

◎調査研究委員会〔東社協婦人保護部会〕

\*都内婦人保護施設5施設の施設長、指導員で、実態調査をデータ化して報告書を作成。毎月1回〔第4火曜日14:00～17:00〕の委員会に職員3名が参加した。

\*今年度は、2013～2015年度の実態調査報告書をまとめた。

\*また、2016年度からの報告書の項目を一新するべく、2年を掛けて検討した。

4 教育

(1) 実習生受け入れ： 5名

学校名	期 間
東京学芸大学	2016年8月9日～9月8日（23日間）
白梅学園大学	8月22日～9月8日（15日間）
社会事業大学	9月16日～10月20日（18日間）
文京学院大学	2017年2月7日～3月16日（23日間）
東京福祉保育専門学校	2月7日～2月22日（前期12日間）

(2) 研修等啓発活動

日 付	講義場所	講義者
4月24日	若草プロジェクト（京都寂聴庵）	施設長
4月27日	自民党本部女性活躍推進本部上川陽子本部長	施設長
5月20日	徳地昭雄先生研究会（埼玉県浦和）	施設長
7月18日	シェルターネットDV会議（石川）	施設長
7月31日	現代都市政策研究所（三鷹市公民館）	施設長
8月26日	若草プロジェクト講義（千駄ヶ谷会館）	施設長
9月17日	ぶどうの木（聖書キリスト教会）	施設長
9月27日	与党「性犯罪・性暴力被害者の支援体制に関するPT」（衆議院第2議員会館）	施設長
10月17日	埼玉県女性相談員連絡会	施設長

11月14日	公明党ヒヤリング山本香苗氏（公明党本部）	施設長
11月16日	横浜市男女共同参加参画センター（ポルノ被害と性暴力を考える会）	施設長
11月29日	国立障害者リハビリテーションセンター（知的障がい者職員研修）	施設長
1月23日	ソシオエステ施術者養成	副施設長他2名
1月24・25日	セーフティネット推進セミナー	施設長
2月9日	東社協民生児童委員シンポジウム	副施設長
2月17日	神奈川県「みずら」（女性への人権侵害）	施設長
2月27日	身体障がい者センター関係者研修（飯田橋セントラルプラザ）	施設長

## 5 広報

(1) 『ヒマラヤ杉の家族』発行 2016年10月15日発行 第41号

(2) 見学等受け入れ

	月 日	団体名
1	4月6日	練馬区社化福祉協議会大泉ボランティアコーナー
2	4月12日	東京都女性相談センター 所長・課長代理（相談係）
3	4月12日	読売新聞社
4	4月14日	神奈川県議会・自民党横浜市連合支部他
5	4月16日	練馬区人権男女共同参画課
6	6月7日	江東荘、赤羽荘、南千住荘、一之江荘、江東荘職員
7	7月1日	北海道母子生活支援施設すずらん
8	7月4日	練馬パワーアップカレッジ
9	7月6日	（社）やまて福祉会 TOKYO チャレンジネット
10	7月25日	共同通信社
11	7月26日	若草プロジェクト
12	7月28日	立命館大学丸山里美先生グループ
13	8月26日	呉慈愛寮職員
14	9月7日	クリスマスビレッジ児童養護施設グループ
15	9月16日	一橋大学法科大学院修了生
16	9月21日	東京都女性相談センター婦人相談員・上智大学
17	9月28日	東京家事調停協会
18	10月12日	公明党山本かなえ参議院議員・共同通信社次長他
19	10月13日	かにた婦人の村 栄養士・調理員
20	10月27日	武蔵野市役所無二の会・NPO ひまわりママ他
21	11月9日	東京家庭裁判所 家庭裁判所調査官
22	11月15日	大阪自彊館室長・大阪市立大学研究員他
23	11月18日	自民党野田聖子衆議院議員
24	11月25日	日本女子大学・国立武蔵野学院・白百合女子大学他
25	12月1日	大島恵の園支援係長
26	12月5日	熊本市健康福祉局
27	12月26日	東京都立志村学園新任教諭
28	1月18日	東京婦人補導院職員
29	1月19日	モンゴル ウドウリーソンソニン新聞社
30	1月31日	明治学院大学教員・学生
31	2月20日	神奈川県さつき寮職員
32	3月1日	国立障害者リハビリテーションセンター学院教官・学生
33	3月17日	産婦人科 Dr・自民党赤枝恒雄・あべ俊子・神山佐市衆議院議員他

以上

## 婦人保護施設いずみ寮拠点拠点区分 資金収支計算書

(自)平成28年 4月 1日(至)平成29年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考		
収入	婦人保護事業収入	127,524,000	130,323,689	△2,799,689			
	措置事業収入	104,028,000	105,544,334	△1,516,334			
	事務費収入	86,376,000	87,272,115	△896,115			
	事業費収入	17,652,000	18,272,219	△620,219			
	その他の事業収入	23,496,000	24,779,355	△1,283,355			
	補助金事業収入	23,496,000	23,729,526	△233,526			
	その他の事業収入		1,049,829	△1,049,829			
	経常経費寄附金収入	100,000	1,233,720	△1,133,720			
	受取利息配当金収入	2,000	439	1,561			
	その他の収入	2,500,000	5,183,236	△2,683,236			
	利用者等外給食費収入	1,700,000	2,054,610	△354,610			
	雑収入	800,000	1,357,888	△557,888			
	雑収入	800,000	1,357,888	△557,888			
	過年度修正収入		1,770,738	△1,770,738			
事業活動収入計(1)		130,126,000	136,741,084	△6,615,084			
事業活動による収支	人件費支出	人件費支出	96,108,000	93,306,037	2,801,963		
		職員給料支出	45,032,000	43,170,053	1,861,947		
		職員賞与支出	12,779,000	12,770,812	8,188		
		非常勤職員給与支出	26,267,000	26,713,420	△446,420		
		法定福利費支出	12,030,000	10,651,752	1,378,248		
		事業費支出	事業費支出	21,900,000	21,190,168	709,832	
			給食費支出	10,000,000	10,640,639	△640,639	
			保健衛生費支出	860,000	604,315	255,685	
			医療費支出	40,000		40,000	
			被服費支出	800,000	793,226	6,774	
			教養娯楽費支出	1,800,000	1,566,577	233,423	
			日用品費支出	1,700,000	1,698,408	1,592	
			本人支給金支出	100,000	86,820	13,180	
			水道光熱費支出	4,900,000	4,421,666	478,334	
	燃料費支出		240,000	196,838	43,162		
	消耗器具備品費支出		400,000	194,100	205,900		
	教育指導費支出		500,000	406,831	93,169		
	就職支度費支出		200,000	245,000	△45,000		
	車輦費支出		60,000	84,666	△24,666		
	雑支出	雑支出	300,000	251,082	48,918		
		事務費支出	10,388,000	9,969,485	418,515		
		福利厚生費支出	482,000	519,770	△37,770		
		職員被服費支出	50,000		50,000		
		旅費交通費支出	800,000	459,466	340,534		
		研修研究費支出	450,000	430,838	19,162		
		事務消耗品費支出	1,200,000	977,231	222,769		
		印刷製本費支出	100,000	39,960	60,040		
		水道光熱費支出	380,000	366,380	13,620		
		燃料費支出	10,000	595	9,405		
		修繕費支出	2,274,000	2,245,733	28,267		
		通信運搬費支出	790,000	762,452	27,548		
		会議費支出	27,000	15,826	11,174		
		業務委託費支出	630,000	688,800	△58,800		
		その他の委託費支出	630,000	688,800	△58,800		
日中作業支出		手数料支出	900,000	914,859	△14,859		
	保険料支出	540,000	703,924	△163,924			
	賃借料支出	505,000	576,246	△71,246			
	退寮者ケア費支出	50,000	48,667	1,333			
	雑支出	1,200,000	1,218,738	△18,738			
	雑支出	1,200,000	1,218,738	△18,738			
	日中作業支出		1,037,141	△1,037,141			



## 婦人保護施設いずみ寮拠点拠点区分 資金収支計算書

(自)平成28年 4月 1日(至)平成29年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
支出	日中作業支出		1,037,141	△1,037,141		
	その他の支出	2,400,000	2,461,540	△61,540		
	利用者等外給食費支出	2,400,000	2,461,540	△61,540		
	事業活動支出計(2)	130,796,000	127,964,371	2,831,629		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△670,000	8,776,713	△9,446,713		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	10,461,000	10,533,000	△72,000	
		施設整備等補助金収入	10,461,000	10,533,000	△72,000	
		固定資産売却収入		3,500,000	△3,500,000	
		建設仮勘定取崩収入		3,500,000	△3,500,000	
	施設整備等収入計(4)		10,461,000	14,033,000	△3,572,000	
	支出	固定資産取得支出	18,264,000	22,082,872	△3,818,872	
		建物取得支出		14,047,804	△14,047,804	
		建物附属設備取得支出	16,664,000		16,664,000	
器具及び備品取得支出		1,600,000	4,535,068	△2,935,068		
建設仮勘定取得支出		3,500,000	△3,500,000			
ファイナンス・リース債務の返済支出	530,000	530,064	△64			
施設整備等支出計(5)		18,794,000	22,612,936	△3,818,936		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△8,333,000	△8,579,936	246,936		
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	12,603,000	12,603,000	0	
		人件費積立資産取崩収入(措置)	5,000,000	5,000,000	0	
		修繕積立資産取崩収入(措置)	6,203,000	6,203,000	0	
		備品等購入積立資産取崩収入(措置)	1,400,000	1,400,000	0	
	その他の活動収入計(7)		12,603,000	12,603,000	0	
	支出	積立資産支出	2,400,000	2,258,080	141,920	
		退職給付引当資産支出	900,000	758,080	141,920	
		人件費積立資産支出(措置)	1,500,000	1,500,000	0	
拠点区分間繰入金支出		1,200,000	1,200,000	0		
その他の活動支出計(8)		3,600,000	3,458,080	141,920		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		9,003,000	9,144,920	△141,920		
予備費支出(10)			—			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	9,341,697	△9,341,697		
前期末支払資金残高(12)		21,555,587	21,555,587	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)		21,555,587	30,897,284	△9,341,697		

## 婦人保護施設いずみ寮拠点拠点区分 事業活動計算書

(自)平成28年 4月 1日(至)平成29年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収益	婦人保護事業収益	130,323,689	129,139,205	1,184,484
	措置事業収益	105,544,334	105,592,205	△47,871
	事務費収益	87,272,115	85,830,710	1,441,405
	事業費収益	18,272,219	19,761,495	△1,489,276
	その他の事業収益	24,779,355	23,547,000	1,232,355
	補助金事業収益	23,729,526	23,547,000	182,526
	その他の事業収益	1,049,829		1,049,829
	経常経費寄附金収益	1,233,720	1,402,000	△168,280
サービス活動収益計(1)		131,557,409	130,541,205	1,016,204
サービス活動増減の部 費用	人件費	94,064,117	95,714,215	△1,650,098
	職員給料	43,170,053	44,438,677	△1,268,624
	職員賞与	10,656,692	8,305,851	2,350,841
	賞与引当金繰入	4,226,120	4,226,120	0
	非常勤職員給与	24,601,420	26,516,206	△1,914,786
	退職給付費用	758,080	882,440	△124,360
	法定福利費	10,651,752	11,344,921	△693,169
	事業費	21,190,168	22,957,806	△1,767,638
	給食費	10,640,639	11,424,727	△784,088
	保健衛生費	604,315	840,549	△236,234
	医療費		6,168	△6,168
	被服費	793,226	654,036	139,190
	教養娯楽費	1,566,577	1,765,131	△198,554
	日用品費	1,698,408	1,722,524	△24,116
	本人支給金	86,820	72,655	14,165
	水道光熱費	4,421,666	4,634,039	△212,373
	燃料費	196,838	1,616	195,222
	消耗器具備品費	194,100	733,288	△539,188
	賃借料		1,800	△1,800
	教育指導費	406,831	364,165	42,666
	就職支度費	245,000	407,791	△162,791
	車輛費	84,666	62,137	22,529
	車輛燃料費		7,709	△7,709
	旅費交通費		11,387	△11,387
	修繕費		6,480	△6,480
	通信運搬費		40,516	△40,516
	雑費	251,082	201,088	49,994
	事務費	9,969,485	12,362,661	△2,393,176
	福利厚生費	519,770	258,263	261,507
	旅費交通費	459,466	591,569	△132,103
	研修研究費	430,838	461,107	△30,269
	事務消耗品費	977,231	1,469,361	△492,130
	印刷製本費	39,960	68,338	△28,378
	水道光熱費	366,380	352,424	13,956
	燃料費	595	143,850	△143,255
	修繕費	2,245,733	3,483,771	△1,238,038
	通信運搬費	762,452	737,068	25,384
	会議費	15,826	5,487	10,339
	業務委託費	688,800	661,800	27,000
	その他の委託費	688,800	661,800	27,000
	手数料	914,859	916,258	△1,399
	保険料	703,924	478,875	225,049
賃借料	576,246	579,456	△3,210	
退寮者ケア費	48,667	53,094	△4,427	
雑費	1,218,738	2,101,940	△883,202	
雑費	1,218,738	2,101,940	△883,202	
日中作業費用	1,037,141		1,037,141	

婦人保護施設いずみ寮拠点拠点区分 事業活動計算書

(自)平成28年 4月 1日(至)平成29年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
費用	日中作業費用	1,037,141		1,037,141	
	減価償却費	17,285,319	16,695,433	589,886	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△8,234,694	△7,689,342	△545,352	
	サービス活動費用計(2)	135,311,536	140,040,773	△4,729,237	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		△3,754,127	△9,499,568	5,745,441	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	439	3,309	△2,870
		その他のサービス活動外収益	3,412,498	3,273,050	139,448
		利用者等外給食収益	2,054,610	2,090,600	△35,990
		雑収益	1,357,888	1,182,450	175,438
		雑収益	1,357,888	1,182,450	175,438
	サービス活動外収益計(4)		3,412,937	3,276,359	136,578
	費用	その他のサービス活動外費用	2,461,540	2,498,660	△37,120
		利用者等外給食費	2,461,540	2,498,660	△37,120
		サービス活動外費用計(5)		2,461,540	2,498,660
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		951,397	777,699	173,698
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△2,802,730	△8,721,869	5,919,139	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	10,533,000	7,967,000	2,566,000
		施設整備等補助金収益	10,533,000	7,967,000	2,566,000
		施設整備等寄附金収益		18,030,000	△18,030,000
		施設整備等寄附金収益		18,030,000	△18,030,000
		拠点区分間繰入金収益		38,000,000	△38,000,000
		拠点区分間固定資産移管収益		20,223,570	△20,223,570
		その他の特別収益	1,770,738	823,934	946,804
		過年度修正益	1,770,738	823,934	946,804
	特別収益計(8)		12,303,738	85,044,504	△72,740,766
	費用	固定資産売却損・処分損		15	△15
		器具及び備品売却損・処分損		15	△15
		国庫補助金等特別積立金積立額	10,533,000		10,533,000
		拠点区分間繰入金費用	1,200,000	1,200,000	0
		その他の特別損失	25,722,435	3,879,385	21,843,050
会計基準移行に伴う過年度修正額			3,879,385	△3,879,385	
過年度修正損	25,722,435		25,722,435		
特別費用計(9)		37,455,435	5,079,400	32,376,035	
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△25,151,697	79,965,104	△105,116,801	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△27,954,427	71,243,235	△99,197,662	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		56,947,108	12,123,873	44,823,235
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		28,992,681	83,367,108	△54,374,427
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)		12,603,000	△17,420,000	30,023,000
	人件費積立金取崩額(措置)		5,000,000	580,000	4,420,000
	修繕積立金取崩額(措置)		6,203,000	△15,000,000	21,203,000
	備品等購入積立金取崩額(措置)		1,400,000	△3,000,000	4,400,000
	その他の積立金積立額(16)		1,500,000	9,000,000	△7,500,000
	人件費積立金積立額(措置)		1,500,000	9,000,000	△7,500,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		40,095,681	56,947,108	△16,851,427	

婦人保護施設いずみ寮拠点拠点区分 貸借対照表

平成29年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	32,373,890	22,450,551	9,923,339	流動負債	6,232,790	5,651,148	581,642
現金預金	18,250,181	10,691,067	7,559,114	事業未払金	1,476,606	894,964	581,642
事業未収金	13,123,709	10,935,550	2,188,159	1年以内返済予定リース債務	530,064	530,064	0
拠点区分間貸付金	1,000,000	823,934	176,066	賞与引当金	4,226,120	4,226,120	0
固定資産	318,239,716	327,337,683	△9,097,967	固定負債	9,007,904	8,830,488	177,416
基本財産	195,649,009	202,835,096	△7,186,087	リース債務	1,766,880	2,296,944	△530,064
土地	21,429,660	21,429,660	0	退職給付引当金	7,241,024	6,533,544	707,480
建物	174,219,349	181,405,436	△7,186,087	負債の部合計	15,240,694	14,481,636	759,058
その他の固定資産	122,590,707	124,502,587	△1,911,880	純資産の部			
土地	973	973	0	基本金	174,225,825	174,225,825	0
建物	79,437,107	73,865,950	5,571,157	第1号基本金	174,225,825	174,225,825	0
車両運搬具	394,904	530,857	△135,953	国庫補助金等特別積立金	94,494,406	66,473,665	28,020,741
器具及び備品	6,662,755	3,084,255	3,578,500	その他の積立金	26,557,000	37,660,000	△11,103,000
有形リース資産	2,296,944	2,827,008	△530,064	人件費積立金(措置)	9,320,000	12,820,000	△3,500,000
退職給付引当資産	7,241,024	6,533,544	707,480	修繕積立金(措置)	13,147,000	19,350,000	△6,203,000
人件費積立資産(措置)	9,320,000	12,820,000	△3,500,000	備品等購入積立金(措置)	4,090,000	5,490,000	△1,400,000
修繕積立資産(措置)	13,147,000	19,350,000	△6,203,000	次期繰越活動増減差額	40,095,681	56,947,108	△16,851,427
備品等購入積立資産(措置)	4,090,000	5,490,000	△1,400,000	(うち当期活動増減差額)	△27,954,427	71,243,235	△99,197,662
資産の部合計	350,613,606	349,788,234	825,372	純資産の部合計	335,372,912	335,306,598	66,314
				負債及び純資産の部合計	350,613,606	349,788,234	825,372

54

## 計算書類に対する注記（婦人保護施設いずみ寮拠点拠点区分用）

## 1. 重要な会計方針

## (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券等一償却原価法（定額法）
- ・上記以外の有価証券で時価のあるもの一決算日の市場価格に基づく時価法

## (2) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並びに器具及び備品一定額法
- ・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

## (3) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金一職員の退職給付に備えるため、期末退職金要支給額を計上している。
- ・賞与引当金一職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度の帰属する額を計上している。

## 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

## 3. 採用する退職給付制度

退職給付制度は、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度及び、東京都社会福祉協議会の退職共済制度によっている。

## 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

- 当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。  
当拠点区分において作成する財務諸表は以下のとおりになっている。  
当拠点区分において作成する財務諸表等は以下のとおりになっている。  
(1)いずみ寮拠点財務諸表（第1号の4様式、第2号の4様式、第3号の4様式）

## 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	21,429,660	0	0	21,429,660
建物	181,405,436	0	7,186,087	174,219,349
合計	202,835,096	0	7,186,087	195,649,009

## 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

## 7. 担保に供している資産

該当なし

## 8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	339,109,715	164,890,366	174,219,349
小計	339,109,715	164,890,366	174,219,349
その他の固定資産			
建物	156,305,771	76,868,664	79,437,107
車輛運搬具	3,766,030	3,371,126	394,904
器具及び備品	33,590,055	26,927,300	6,662,755
小計	193,661,856	107,167,090	86,494,766
合計	532,771,571	272,057,456	260,714,115

## 9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

## 10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

## 11. 重要な後発事象

該当なし

## 12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

平成27年東京都監査で指摘のあった作業会計を、今年度末、本会計に繰り入れた。